オープンガバナンスとデザイン思考

２０２１・０１・１５

1　デザインとは何か

＜デザインの語源＞

語源　ラテン語の　designareから
意味としては、
to designate（示すこと）
&
to draw（描くこと）

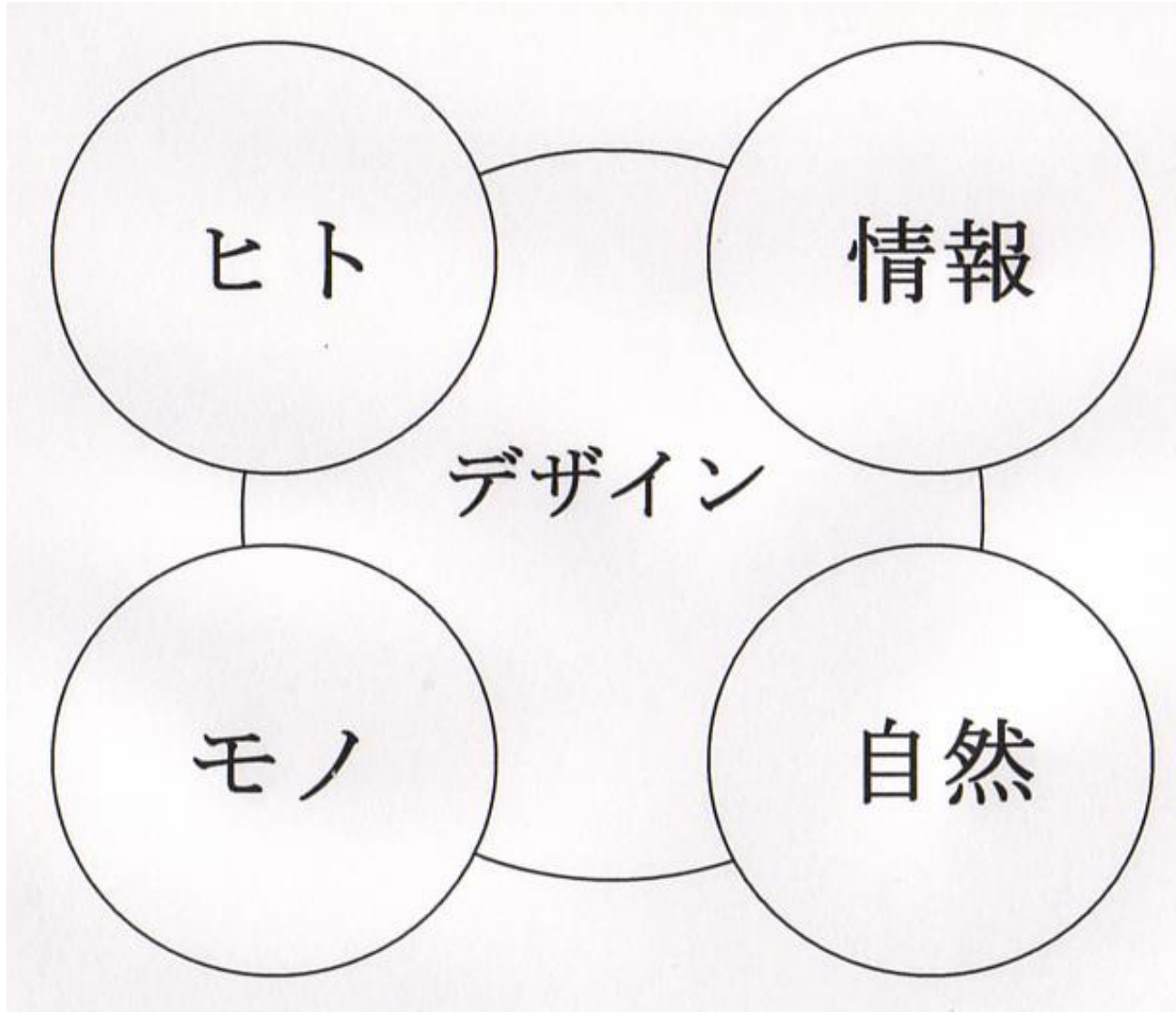
ある意図をもって、表現すること
→アイディア＆表現

デザインとは、問題を解決するために
思考や情報を整理して、
コンセプトやビジョンを導き出し、
最適な形にして
わかりやすくその価値を伝えていく行為。

佐藤可士和「佐藤可士和のクリエイティブシンキング」

２　デザインの役割

ある目的を遂げるにあたって、
人、モノ、自然などの間の互いの関係や、
コミュニ－ションを、より円滑に、より好ましい
（使い易い、心地よい、楽しい、ステキだ、
調和している、傷つけない、損なわない・・）
ものにすること。


ヒト
情報
デザイン
モノ
自然

３　デザイン思考とは

・事実ではなく、「価値命題」からスタート

認識科学：事実→仮説→検証→理論、 デザイン科学：価値命題→最適化→実現→検証

・ユーザー思考（ユーザー目線の商品・ビジネス開発）

・試行錯誤を重ねながら最適解へ

・考え方プラス表現まで（具体的なカタチまで制作→社会浸透）

・ときにはジャンプ思考も

・全体性を重んじる（バランス思考）

４　デザイン思考とオープンガバナンス

・試行錯誤→走りながら考える（とりあえずやってみる）

ただちに正解にたどりつけないという信念（人間の感情を相手に）

・ユーザー思考→市民の意見を広く聴く

ユーザーの気持ちを考慮しなければビジネス（成果）にならない

・考え方プラス表現まで→議論にとどまらず、施策の実現まで

カタチまで見せて、わかりやすく納得させる

・事実ではなく、「価値命題」からスタート

→理屈ではいえないけれど、八幡はこうあって欲しい

つねに人々の夢、希望、理想、願望などを念頭に置いて仕事

・ときにはジャンプ思考も

→市民の斬新なアイディアや発想を取り入れる

演繹的な発想にこだわらない

・全体性を重んじる（バランス思考）

→市のすみずみまで豊かさが行き渡る

個々の要素よりも、全体としての（美的）価値を重視する